

新潟県における病害虫地域予察強化事業について

新潟県農業共済組合連合会 石塚 功

1 病害虫地域予察強化事業の概要

- (1) 水稲病害虫防除を効果的（適期・広域一斉・必要最小限）に行うための事業
- (2) 昭和59年から県で実施している市町村抽出調査と一体化して取り組む。
- (3) 水稲作付のある県内全市町村で実施

2 調査概要（平成23年度実績）

- (1) 調査員数 1,167人（県・市町村・JA・農業者・NOSAI）
- (2) 平均調査回数 6回（6月～8月：月2回）
- (3) 調査地点 2,568地点（48haに1点）
- (4) 調査対象病害虫 いもち病、紋枯れ病、カメムシ類など

3 調査結果の活用

- (1) 調査終了後結果を分析し、防除時期・防除の要否・情報提供用チラシなど検討
- (2) 関係農家等への伝達日数は3日程度
- (3) 平成23年度は、一部地域において6月調査でイネアオムシの発生が目立ったことから、緊急検討会開催し、緊急防除のチラシ配布、箱施用剤に殺虫成分入っているかの聞き取り調査、本田すくい取り調査に追加などの対策をとる。
- (4) 無人ヘリコプターによる請負防除では、コシヒカリBLに対応した防除体系が定着したこと、予察調査による必要最小限の防除実施により、平均1.1回の散布

4 今後の課題

- (1) 調査員の不足及び調査日程の調整
- (2) 調査員の技術不足
- (3) 調査地点の確保（30haに1点）